

再発防止策の検討（案）

1 開票事務従事者

- (1) 開票所全体の運営状況を把握し、不測の事態に対応するため、部長級職員及び選挙管理委員会書記を配備する。また、各係の責任者は、係事務の統括に徹し、実作業は係員が行うこととする。

前回選挙では、統括指揮5人のうち、2人が台風対応で欠けたほか、2人が他の係を兼務していた。また、各係の責任者も実作業に当たっていた。今回の知事選挙では、統括指揮に当たる従事者を専任とすると同時に法令順守係として選挙管理委員会の書記以外のもの（総務部長や法令遵守を指導いただく警察OB等）を配置する事で開票所全体の運営状況を把握し、不測の事態に備える。また、各係の人員については、責任者を除く人数で実作業がこなせるように計画する。

- (2) 選挙管理委員会書記及びスタッフについては、服装等を区別することにより係の作業状況及び所在を明確にする。各係の責任者には腕章等を着用させ、係員への適切な指示を行うこととする。

前回選挙では、従事者は白色の腕章を着用していた。開票事務テキストには係別の一覧があったものの、台風対応に当たる者が反映できていない等の問題があった。また、出席状況の把握についても、出席簿に記入するのみであった。今回の知事選挙では、ベスト等の色により係を明確にするとともに、責任者であるかも明示する。また、係の責任者が係員の出席状況を把握するよう改める。

- (3) 選挙開票事務の経験がある職員を本部職員として従事させるとともに、開票事務従事者への事前説明会を、対象職員全員に徹底する。併せて、各係の責任者は、担当係毎に作業内容の確認を係員全員で行うこととする。

前回の選挙では、前々日の金曜16時から事務主任者が開票会場に参集し、リハーサルを行ったが、業務の都合上、欠席となることもあった。また、投票事務と兼務して

いる従事者は参集時刻が異なることもあり、事務主任者からの説明も十分でなかった。今回の知事選挙では、前日の土曜午後に開票事務従事者全員を対象としたリハーサルを行う。また、投票事務との兼務を止め、当日係ごとのミーティングが可能な体制を構築する。

2 進行管理

- (1) 開票所内には、職員に対する今後の関連業務改善の研修用等としてカメラを設置する。

開票会場内に開票事務の流れ（動き）が確認できるよう2～4点ビデオカメラにて撮影をする。※開票作業～開票結果発表まで選挙後、反省会および研修会を開催する際に資料として活用する。

- (2) 投票数と開票数に齟齬が生じた場合は、随時、開票管理者及び開票立会人等に報告し、開票管理者に必要な指示を仰ぐものとする。

投票数と開票数の齟齬については、一定ルールを設け、生じた場合には事務局長より開票管理者及び開票立会人等に報告し、開票管理者に必要な指示を仰ぐものとする。その他、疑義が生じる案件についても同じとする。

- (3) 開票状況について、適時アナウンス等により、立会人等にお知らせをする。

疑義や不測の事態が生じたりした場合、一定業務が長時間、中断することがある。開票率等の速報とは別に、開票作業で起こった状況も含めて開票会場にて適宜アナウンス等することにより、情報の共有を図る。

3 執行管理

- (1) 当該選挙の規模に応じた開票所の選定を行う。

今回の知事選挙は票が1票であり、投票箱も100箱であるため、従来より使用している甲南情報交流センターを開票所に選定するのが望ましいと思われる。ただし会場内における投票箱の保管場所や白票の管理場所などのレイアウトの見直しは行う。

- (2) 投開票事務マニュアルはあるが、新たにトラブル事例とその対応マニュアルを整備する。

投票数と開票数に齟齬が生じるケースの検証と対策、万一齟齬が生じた際の対応マニュアルを作成する。また不測の事態として台風への対応が生じたケースも想定のうち既存のマニュアルの見直しを行う。

- (3) 各投票所から返送された白紙の投票用紙は、確認の後封印し、選挙終了時まで監視できる場所に置く。

投票所から返送された白票については、枚数を確認した後に箱に封印し、開票の終了時まで開票管理者・立会人の監視下に置き管理する。

- (4) 投票箱は、全て開票所内に搬入し、全ての投票箱が揃っていることを確認後、開票台の上で開ける。空箱は確認を受けた後、個数チェックのうち会場内で保管する。確定を打つ前に、再度、空であること及び個数の確認を受ける。

それぞれの投票箱に担当係を定め、責任を持って数の確認、鍵の解錠、開票台への移動、開票台への票の取り出しを行う。また全ての投票箱に残票が残っていないかについては、今回新たに設ける確認係により複数の目で確認を行う。また空箱についても開票終了時まで開票所内で管理する。

- (5) 開票所は、開票時間の開始と同時に閉鎖するとともに、出入口には担当者を配備したうえで、厳重に出入のチェックを行う。

開票所出入口に担当者を配備し、開票開始時刻と同時に開票所を閉鎖する。その後に出入を行うものについては、事務従事者であることをしっかりと確認し、事務従事者以外の出入については原則禁止する。なお不測の事態が生じ、事務従事者以外の出入を承認する際は責任者に相談の上、判断を行う。

4 その他

- (1) 投票終了時間の繰り上げ、開票開始時間繰り下げ等、点検作業時間確保のための検討

を行う。

今回の知事選挙では前回知事選挙より開票開始時刻を15分から30分程度繰り下げる。

- (2) 投開票事務マニュアルは、不測の事態を想定のうえ見直しを行う。

3 執行管理(2)に同じ

- (3) 6月に実施される予定の滋賀県知事選挙に向けた取り組みとして、滋賀県選挙管理委員会とともに開票事務の再点検を行う。

前回の選挙では、図書を参考に、開票事務テキストを作成し、事務にあたった。今回の知事選挙では、開票事務テキストを見直すとともに、採用する事務手続きが、法的に支障がないか等について、県選管と協力して点検する。